

ご視聴の皆さまへ

- 配信動画および資料の著作権は、横浜市リハビリテーション事業団が保有します。
- 動画および資料の無断転載、複製、転用、販売等の二次利用は、固く禁じます。
- この配信動画は、当センター利用者の保護者の方のみ視聴可能です。
- 第三者に動画および付属資料の URL を拡散することはお控えください。

発達障害の基礎知識 ～主に小学生の方向け版～

横浜市西部地域療育センター
医師

YRS
ユアーズ

きそこうざ、はったつしょうがいのきそちしきをごしちょういただきありがとうございます。ここでは、おもにしょうがくせいのおこさんをねんあたまに、はったつせんもんいのたちばかりきほんてきなはなしをかいせついたします。

診断の意味

- 発達障害の特性をふまえた育て方のコツを知る
キーワード
- 今すべきこと、今がんばらなくていいことの
整理がしやすくなる
- 発達支援に必要なサービスに
つながりやすくなる

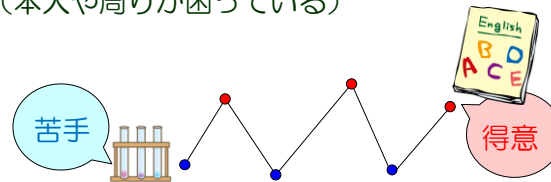


はったつしょうがいのしんだんは、れってるをはるためのものではなく、はったつしょうがいのとくせいをもつこどものそだてかたのこつをしるキーワードとしてしんだんをおこなうものです。しんだんによって、いますべきことをせんめいにして、ぎゃくにいまがんばらなくていいことをせいりすることにもやくだちます。しゅうだんばめんでどのようなしえんをおこなったらよいかなど、しんだんがあることでそのこにあわせたはったつしえんにひつようなさーびすにつながりやすくなります。

発達障害とは？

発達上のなんらかの苦手さ・凸凹・特性

何らかの「社会的な不適応」がみられる状態
(本人や周りが困っている)



はったつしょうがいをかんとんにていぎしますと、はったつじょうのなんらかのにがてさ・でこぼこがあり、それによりしゃかいてきなふてきおうがみられる、つまりほんにんやまわりがこまっているじょうたいのことをさします。いがくてきにはいっぱんてきなびょうきとはくべつしてかんがえられており、はったつでこぼことかはったつとくせいなどいろいろないいかたがあります。

主な発達障害

ASD（自閉スペクトラム症）

LD（学習障害）

AD/HD（注意欠如多動症）

はったつしょうがいには、ASD、じへいすぺくとらむしょう、LD、がくしゅうしょうがい、ADHD、ちゅういけつじょたどうしょうがあります。
いかに、それぞれかいせついたします。

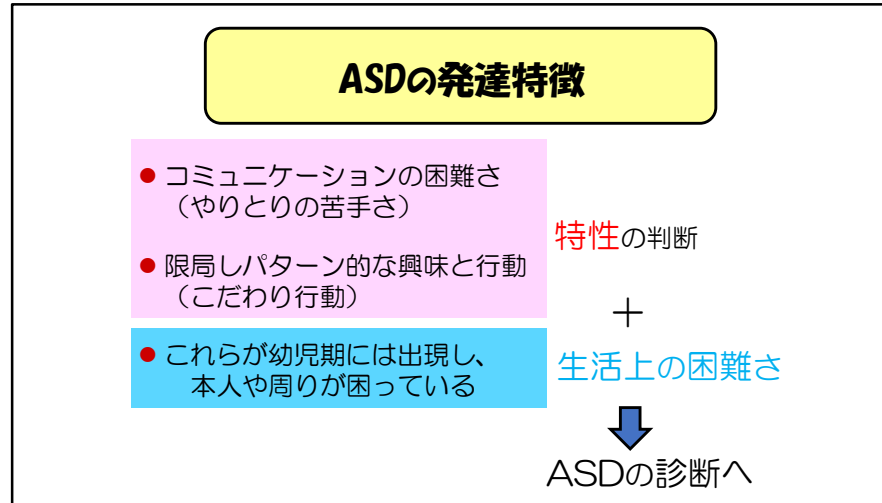
自閉スペクトラム症(ASD)とは？

「脳の機能」に原因がある発達障害

- 脳の病気ではありません
- ミクロなレベルでの脳の違いといわれています



じへいすべくとらむしょう、いかASDとよびますが、いがくてきには「のうのきのう」にげんいんがあるはったつしょうがいのひとつとされます。のうのきのうといっても、のうのびょうきではありません。じっさいに、のうのがぞうけんさなどをくわしくおこなっても、なんともないことがほとんどすべてです。そのため、いがくてきにはASDはのうのびょうきではなくめにはみえないみくろなれべるでののうのちがいとりかいされています。



ASDのはったつじょうのとくちょうはおおきく2つあります。ひとつは、こみゅにけーしょんのこんなんさ、やりとりのにがてさです。これについてはつぎのすらいどでくわしくせつめいします。もうひとつはげんきよくしぱたーんてきなきょうみとこうどうといいますが、こだわりといういいかたでゆうめいです。しんさつでは、おこさんのごようすなどからこれらのとくせいについてはんだんしますが、しんだんするためにはこれらのとくせいがあることでふだんのせいかつでほんにんやまわりがこまっている、つまりせいかつじょうのこんなんがあることがしょうけんとなります。そのため、しんさつでは、しんさつしつのごようすにくわえてふだんどうですかというせいかつのごようすとしょうごうしたうえでしんだんがおこなわれることになります。

コミュニケーションの 質的な困難さ

■ 言葉のコミュニケーション

■ 言葉以外のコミュニケーション

ジェスチャー、表情などのちょっとした仕草、
ことばに込められた意図や感情 など



言葉が遅れているだけとはいえない

さて、ASDのさいだいのとくちょうである、こみゅにけーしょんのしつてきなこんなんさについてごせつめいします。ぽいんとは、ASDのとくちょうは、ことばのこみゅにけーしょん、つまりかいわだけでなく、ことばいがいのこみゅにけーしょんもこんなんであるということです。ことばいがいのこみゅにけーしょんとは、じえすちやー、ひょうじょうなどのちょっとしたしぐさ、ことばにこめられたいとやかんじょうなどであり、ことばがおくれているだけとはいえないということです。

マイペース・タイプ

小学1年生 男の子

校庭でみんなが基地ごっこをしている中、一人で鉄塔をみて楽しんでいる。電線や水道の知識が豊富で、教室では図鑑を見ながら話をしてくれるが、相手に説明するというよりも独り言を言っている感じである。



たとえば、まいペーすたいぷのおこさんのれいです。しょうがく1ねんせい おとこのこ こうていでみんながきちごっこをしているなか、ひとりでてっとうをみてたのしんでいます。でんせんやすいどうのちしきがほうふで、きょうしつではずかんをみながらはなしをしてくれますが、あいてにせつめいするというよりもどこかひとりごとをいっているようなかんじです。

ちなみに、このようにすきなもの・ぼっとうできるものがあるおこさんのばあいは、そのようにむちゅうになれるものをだいじにみとめてあげることで、おこさんがししゅんきいこうもあんでいしてせいちょうしていくことにつながります。

やりとり（社会的相互交渉） の質的な困難さ

- 人とのやりとりが、
 - ・ 乏しく続かない，一方的，受け身
- 他者と意図や感情の共有ができない
 - ・ 「何となく察する」ことができない
 - ・ 一緒に楽しむ，興味を分かち合う意図が乏しい



集団で社会的な行動をとることは**極めて苦手**

こみゆにけーしょんのこんなんさを、やりとり・しゃかいてきそうごこうしょうのしつてきなこんなんさと、ひょうげんすることもあります。やりとりのこんなんさは3しゅるいあり、これについてはつぎのすらいどでもせつめいします。いずれにしても、たしゃといとやかんじょうのきょうゆうができないため、なんとなくさっすることができなかったり、いっしょにたのしむ・きょうみをわかちあうといういとがとぼしいということがあります。かんじょうのきょうゆうができないとありますが、かんじょうがないとかこころがないといういみではありません。あんてながさどうしてあいてのじょうきょうをぱっとさっするのがにがて、というようないみあいでは

す。これらのとくちょうのため、しゅうだんでしゃかいてきなこうどうをとることがきわめてにがてであることがおおいです。

ふざけてる・・・？

高校生 男子

悪い事をして、職員室まで行き先生に謝る。
「もうするなよ！よし、行ってよし！」と
怒られ「すみません！」と頭を下げた直後、
「そういやこの前の試合のことなんだけど」
と余韻なくフレンドリーに語る。



たとえば、これはこうこうせいのれいです。わるいことをして、しょくいんしつまでいきせんせいにあやまるといばめんです。これもじっさいにあったはなしで、そのせんせいによると、ほんとうにちょっかくにあたまをさげて、ほんとうにごめんなさいということがつたわるじっちょくなよすこだったそうです。それで、せんせいが「もうするなよ！よし、おこなってよし」といって、かれがふたたび「すみません！」とあたまをさげたちょくご、3びょうもたたないうちに、「そういやせんせい、このまえのしあいのことなんだけど」と、よいんなくふれんどリーにかたる、というずっこけるはなしでした。せんせいからすると、「おまえ、ほんとうにはんせいしているのか」とにじゅうにおこられてしまうということです。よのなかにはあんもくのりょうかいというものがある、ここでは、せめてしょくいんしつをたいしつするくらいまでは、しおらしくしていなさいというわけですが、そのあんもくがみえず、こうこうせいのかれからすると、もうあやまって、せんせいからも「よし」といわれているので、げんごてきにはりかいできているのですが、あいてとのこみゆにケーションとしてはズレてしまっています。

限局しパター的な 興味と行動（こだわり行動）

- 興味・関心の幅が狭い（概して深いことが多い）
- 特定の物・手順・遊び方・ルール などのこだわり
- いつまでも同じことを繰り返す
- パターンが変えられると不安、パニック、自傷

さて、ここからはASDのはったつとくちょうの2つめである、こだわりについてです。せいしきには、げんきよくしばたんてきなきょうみとこうどうといいます。いっぱんてきにも、ひとにはなんらかのこだわりをもつものでして、いっぱんてきなこだわりとASDのこだわりとどうちがうかという、じつのところはめいかなちがいはないとされます。ただし、ASDのばあいには、いっぱんてきなこだわりのはんいをとびこえてきょうみやかんしんのはばがせまく、がいしてふかいことがおおいです。こだわりにはいろいろあって、でんしゃやかいてんするものなどとくていのものからてじゅん、あそびかた、るーるなどさまざまです。どあをあけたりしめたり、くるくるとかいてんしていたりと、いつまでのおなじことをくりかえしたりします。いちぶのASDのかたは、ぱたんがかえられるとふあん、ぱにつくからじぶんをたたくといったじしょうにいたるひともいます。

まじめさ・・・？

小学2年生 女の子

ルールや決まり事に忠実だが、頑なで融通がきかない。
授業中に談笑している友達に対して、「静かにしてください！」を連呼して、ひんしゆくをかけている。

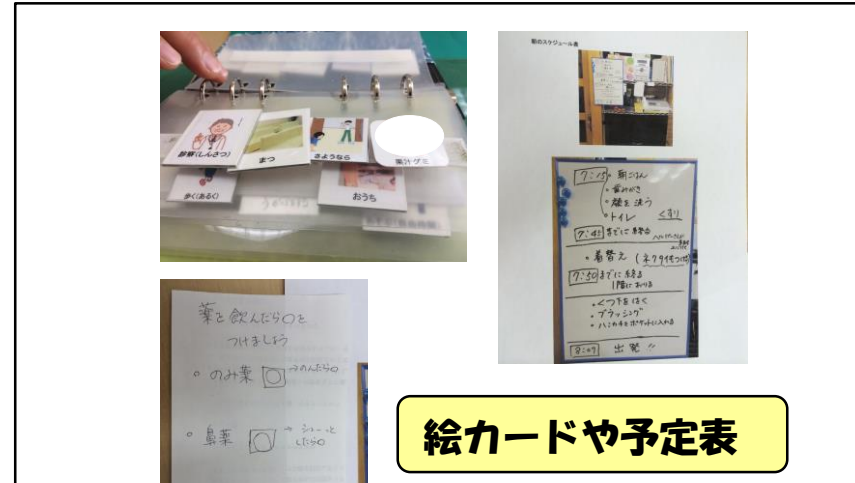


これもこだわりのれいです。しょうがく2ねんせいのおんなのこ。るーるやきまりごとにちゅうじつだが、かたくなでゆうずうがきかない。このるーるやきまりごとにちゅうじつというのが、このおこさんのこだわりになります。ちなみに、このようなこだわりがしょうがくせいのこのじきにでてくるようなおおさんは、ひかくてきはったつのけいかがよいことをけいけんしますし、のちのちは、しゃかいてきなもらるをきっちりとまもるせいじつなひとになることがよそくされます。ただこのおこさんは、じゅぎょうちゅうにだんしょうしているともだちにたいして、「しずかにしてください！」をれんこして、ひんしゆくをかけてしまいます。このおこさんは、ただしいことをいっているのですが、ほんにんがしゅういからうけいられずそんをしてしまう、ということで、どうしてまわりをうまくいかないんだらうというふうになやんでしまいます。

その他の特徴

- 目から入る情報の方が耳から入る情報より得意（「百聞は一見に如かず」）
- 見通しがもてないと不安
- 特定の感覚に過敏あるいは鈍い
- 記憶がよい（嫌な記憶が残りやすいことも）
- 運動が苦手なことがある（手先、バランスなど）

ここからは、そのたのつくちょうとして、ASDのぜんいんにあてはまるわけではありませんが、そだてるうえで
ぽいんとなりやすいことがらをまとめてあります。ひとつめは、めからはいるじょうほうのほうがみみからは
いるじょうほうよりとくい、いわゆるひゃくぶんはいっけんにしかずです。



しかくてきなしょうほうがとくいなばあい、このようなえかどやよていひょうをもちいることで、しょうきょうをよくりかいして、てきせつにこうどうをすることができるようになります。

その他の特徴

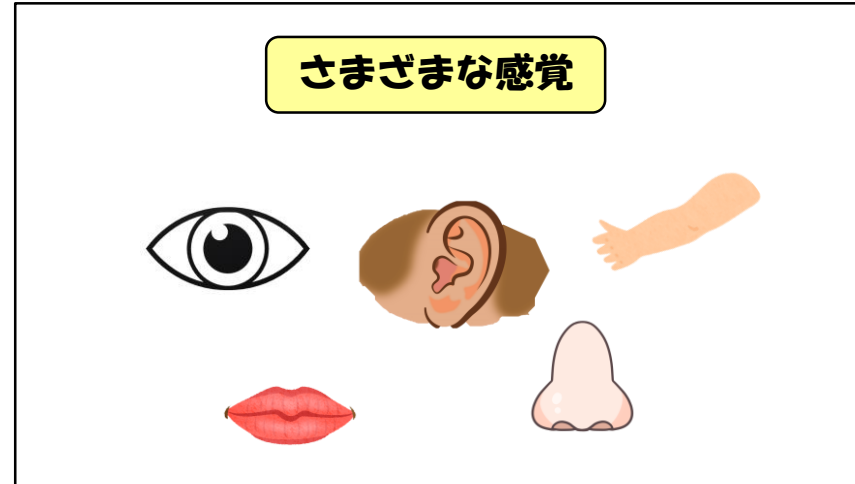
- 目から入る情報の方が耳から入る情報より得意（「百聞は一見に如かず」）
- 見通しがもてないと不安
- 特定の感覚に過敏あるいは鈍い
- 記憶がよい（嫌な記憶が残りやすいことも）
- 運動が苦手なことがある（手先、バランスなど）

2つめのとくちょうは、みとおしがもてないとふあんになりやすいというものです。うらをかえすとふあんがつよいばあいには、みとおしをもたせるようなしえんをするとあんしんしてかつどうできるということです。

その他の特徴

- 目から入る情報の方が耳から入る情報より得意（「百聞は一見に如かず」）
- 見通しがもてないと不安
- 特定の感覚に過敏あるいは鈍い
- 記憶がよい（嫌な記憶が残りやすいことも）
- 運動が苦手なことがある（手先、バランスなど）

とくていのかんかくにかびんあるいはにぶいというたいぷのひともいます。



にんげんはさまざまなかんかくがありますが、ASDのひとのなかには、とてもまぶしく感じる、あるいはおとやにおいにびんかんといったかんかくかびんをうったえるひともいます。またじぶんのしせいがかたむいていたり、かいてんしているというかんかくが、ぎゃくに、にぶいというひともいます。

その他の特徴

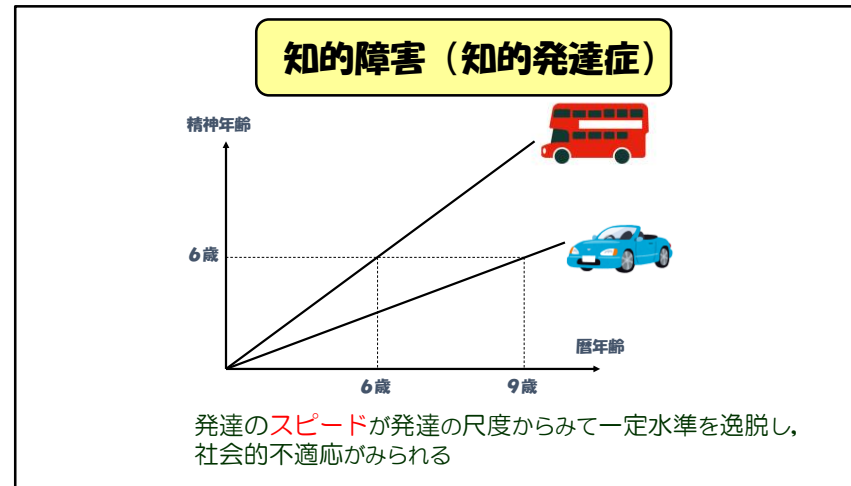
- 目から入る情報の方が耳から入る情報より得意（「百聞は一見に如かず」）
- 見通しがもてないと不安
- 特定の感覚に過敏あるいは鈍い
- 記憶がよい（嫌な記憶が残りやすいことも）
- 運動が苦手なことがある（手先、バランスなど）

つぎに、ASDのぜんいんではありませんが、きおくがよいというひともいます。きかいてきなきおくがたけていて、すぐれたのうりよくをはっきすることもあります。いやなきおくがいつまでものこりやすいひともいて、なんねんもまえにあったいやなできごとを、いつまでもせんめいにおぼえてる、おもいだすをついきのうあったできごとのようにりあるにきおくがよみがえってしまい、それがひじょうにふかいというひともいます。

その他の特徴

- 目から入る情報の方が耳から入る情報より得意（「百聞は一見に如かず」）
- 見通しがもてないと不安
- 特定の感覚に過敏あるいは鈍い
- 記憶がよい（嫌な記憶が残りやすいことも）
- 運動が苦手なことがある（手先、バランスなど）

さいごに、うんどうがにがてなことがあります。うんどうは、てさきをつかうようなこまかいうんどうと、ぜんしんをつかうようなおおきなうんどうがあります。とくいというひともいますが、それらがにがてで、がくしゅうやせいかつめんでししょうがでてしまうかたもいます。



ちてきしょうがいというしんだんもあります。ちてきしょうがいは、ちてきはったつしょうともいって、はったつがねんれいにくらべてゆっくりなじょうたいをさします。このえでは、にかいだてばすのように、よこじくのこよみねんれい、つまり6さいのおたんじょうびのときにたてじくのせいしんねんれいも6さいのばあい、ちょうどへいきんてきなはったつのすぴーどであるとはんだんされます。それにたいして、おーぷんかーのように、9さいのおたんじょうびのときにたてじくのせいしんねんれいが6さいのばあい、ねんれいにくらべて3さいぶんのおくれがあるとかがえます。にかいだてばすにくらべておーぷんかーははったつがゆっくりというわけです。はったつのすぴーどはつうじょう、はったつのけんさなどをおこないはんだんします。

LD(学習障害)の主症状

話す・聞く



読み・書き



算数



その他, 不器用, ことばの問題, など…

発達全体に遅れがある場合は、知的障害と診断

つぎはLD、がくしゅうしょうがいです。LDは、ぜんたいてきなおくれはないにもかかわらず、はなす・きく、よみかき、さんすうといった、ひとががくしゅうするうえのきそとなるはったつが、とくいてきによわさがあることをさします。

はったつぜんたいにおくれがあるばあいには、LDではなくちてきしょうがいとしんだんされます。

誤解されやすい症状・・・



LDは、たさいながくしゅうにかんれんしたしょうじょうがあり、くわえて「ごかいされやすい」というとくちょうがあります。

ぜんぜんがくしゅうができないというわけではなく、たとえばくらすのなかでいちばんできないというわけではないこともおうおうにしてあります。

いつもせっしているごかぞくやせんせいからみても、

まじめにやっていないのでは？、できそうでできない、できたりできなかったりする、たんなるけあれすみす、など

わかりにくいところがあってほんにんもまわりもなやんでしまいます。

環境改善的アプローチ



読み書きの習得よりも、授業内容の理解や活動への参加に力点
本人、学校、周囲の理解が導入には必要となる

LDのたいおうは、かんきょうかいぜんてきあぷろーちがぽいんとなります。これは、たぶれっとをどうにゆうしてよみかきのほじょをしたり、けいさんきをせっきよくてきにつかったり、かだいをおこなうじかんをえんちょうするなど、ほんにんをかえるのではなく、かんきょうにはたらきかけるほうほうです。

よみかきのしゅうとくよりも、じゅぎょうないようのりかいやかつどうへのさんかにりきてんをおきます。かんきょうかいぜんてきあぷろーちには、ほんにん、がっこう、しゅういのりかいがひつようになります。

LD診断の意義

- 子どもにあった学習環境を設定できる。
- 子どもの周囲，特に保護者と教師が子どものよき理解者となることができる。
- 不安やイライラなど、二次障害を最小限に抑える。

診断および、詳しい評価は小学生になってから

LDしんだんのいぎは、こどもにあったがくしゅうかんきょうをせっていすることで、かんきょうかいぜんてきあぶろーちをすすめやすくなります。

また、ごかいされやすいしょうじょうであるLDにたいして、こどものしゅうい、とくにほごしゃさんときょうしがこどものよきりかいしゃとなることができます。

それにより、ふあんやいらいらなどの、にじしょうがいとよばれるしょうじょうを、さいしょうげんにおさえることができます。

なお、LDのしんだんおよびそのためのくわしいひょうかは、なかなかふくざつでむずかしいため、しょうがくせい、おこさんにもよりますがしょうがく3ねんせいいこうになってからかのうとなります。

AD/HD（注意欠如多動症）

- Attention Deficit/Hyperactivity Disorder
- 不注意・多動性・衝動性の3つの行動を認める

さいごにADHD、ちゅういけつじょたどうしょうです。えいごのかしらもじをとってADHDとよんでいます。
ふちゅうい、たどうせい、しょうどうせいの3つのこうどうをみとめます。

活発？好奇心？

小学校2年生 男の子

幼児期はとにかくたえず動き回る子であった。小学校に入り、なんとか着席しているものの、足をモジモジさせ落ち着きがない。授業中も注意が散漫になってしまう。本人も、なぜ他の子のように自分がうまくできないのか悩んでいる。



ADHDのおこさんのれいです。ようじきはとにかくたえずうごきまわるこであった。しょうがっこうにはいり、なんとかちゃくせきしているものの、あしをもじもじさせおちつきがない。じゅぎょうちゅうもいろいろなことがきになってしまい、ちゅういがさんまんになってしまう。ほんにんも、なぜ、ほかのこのようにじぶんがうまくできないのかなやんでいる。

AD/HD（注意欠如多動症）

■ 不注意・多動性・衝動性の3つの行動を認める

12歳以前に症状の存在
6ヶ月間以上の症状持続
学校と家庭など、2箇所以上で症状が存在

確定診断は、小学生になってからが多い

ADHDは、ふちゅうい、たどうせい、しょうどうせいの3つのこうどうをみとめますが、それらがあればそくしんだんがつくわけではなく、いっていいじょうのれべるをこえていることがじょうけんになります。それいがいにも、12さいまえからこれらのしょうじょうがあること、6かげついいじょうしょうじょうがじぞくしていること、がっこうとかていなど2かしよいじょうでしょうじょうがそんざいすることなど、いくつかのじょうけんがあります。これらのきじゅんがあるため、ようじきにはかくていしんだんがつきにいく、しょうがっこうにあがってからしんだんがつくことがおおいです。

多動…それは曖昧な概念

AD/HDの多動



不安



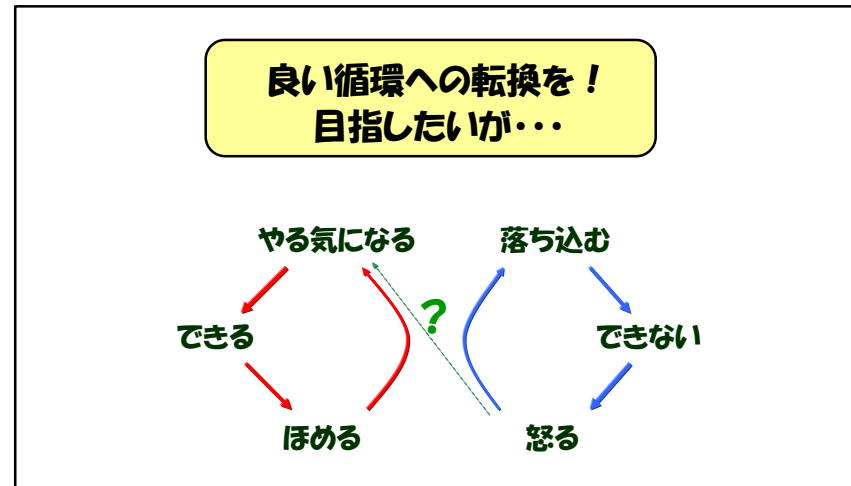
あせ
焦り



イライラ



にんげんはさまざまなしょうきょうでこうどうがおちつかなくなるものです。
ADHDのたどうは、ぜんまいでうごくおもちゃのようないめーじで、からだがかってにうごいてしまいます。
それにたいして、きもちがあせったり、ふあんになったり、いらいらするときにおちつかなくなるばあいは、
ADHDとはべつのものとかんがえており、たいおうほうもかわってきます。
たどう＝ADHDではなく、たどうのげんいんをさぐる、というしてんがだいじになってきます。

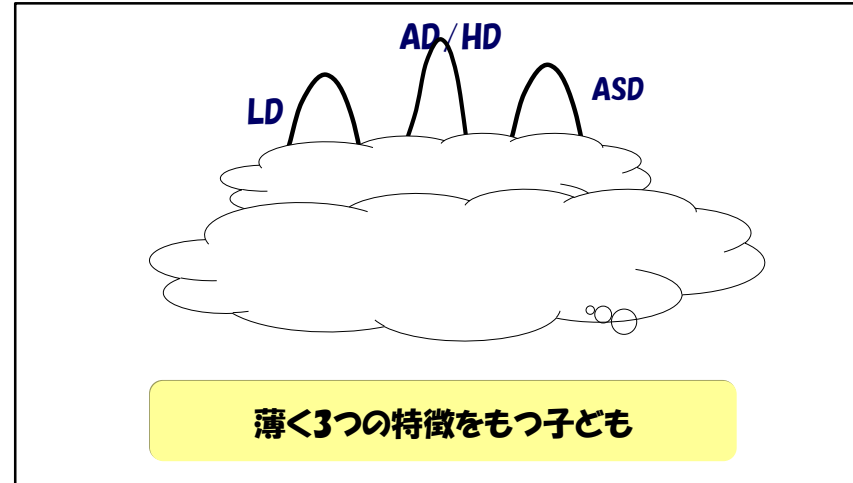


ADHDのおこさんは、せいかつめんでうまくいかないことがおおくて、みぎがわにあるように、できない→おこる・あるいはおこられる→そしておちこむというふのじゅんかんにおちいることがもんだいとなります。

できればひだりがわのように、うまくできることをふやして、ほめられる、そしてやるきになるというじゅんかんにもっていきたいところです。

できることをふやすためには、いちじきは一どるをさげてあげて、せいこうたいけんをもちやすくしたほうがよいことがしばしばあります。

なお、まわりからおこられて、しっただげきれいをうけて、それでやるきになる、ということはしんさつじょうはあまりなく、そのようなやりかたはあまりおすすめできないことがおおいです。



いじょう、かんたんではありますがはったつしょうがいのだいひょうてきな3つ、ASD、LD、ADHDについてかいせつしました。

これら3つをいろこくもつわけではないものの、それぞれのとくちょうをうすく3つもつおこさんもけっこういます。このえでいえば、それぞれのやまのちょうじょうにいるようなわけではないですが、それぞれのやまをくだってきた、みずうみがあるふもとくらいにいちするようなばあいです。うすいけど3つあるばあいには、それぞれにたいしてたいおうするひつようがあって、よりしんちょうなりかいがもとめられることもあります。